

岩手県立高田高等学校の再建に向けて、1億円の支援を実施
～学校からのまちづくり支援に向けて～

東日本大震災により被災された皆さまに、心からお見舞い申し上げます。

昭和30年11月に第一生命保険相互会社（現第一生命保険株式会社）からの拠出金をもとに設立された一般財団法人 都市のしくみとくらし研究所（理事長：玉浦雅明）では、この度の東日本大震災発生以降、被災地復興に役立てていただくための財団資産の活用を検討してまいりました。

今回は、東日本大震災の津波等により、校舎全損という甚大な損害を被り、今後の再建予定地も未定の状態にある岩手県陸前高田市の県立高田高等学校の再建事業に対し、寄付を実施することを決定いたしました。

岩手県の復興計画には、県立高田高等学校の再建が明示されており、今後の学校再建の一助として、また新たなまちづくりのためにご活用いただけることを祈念いたしております。

贈呈式には、宮舘壽喜岩手県副知事にもご出席いただく予定です。

記

1. 寄付金額 1億円
2. 寄付先 岩手県
3. 寄付日 平成23年12月16日（金）
同日14時 目録贈呈式（岩手県庁）

以上

お問い合わせ先
一般財団法人 都市のしくみとくらし研究所
担当 石津 電話：03-3239-2312

【ご参考】

■当財団について

当財団は、財団法人の公益理念にもとづき第二次大戦後の住宅困窮者のため低廉良質な住宅を供給し、併せて住宅事情に関する調査研究を行うことを目的として設立された財団法人です。

平成23年4月に一般財団法人へ移行するとともに、名称も「財団法人 第一住宅建設協会」から新たに「一般財団法人 都市のしくみとくらし研究所」に変更いたしました。

住宅および宅地の供給は昭和63年に停止し、現在は、都市におけるいろいろな仕組みの思想・役割や、日常のくらし、住生活の改善向上をはかるための必要な調査・研究および啓発を主な目的とし、住宅、都市などに関する研究への助成、機関誌「CITY&LIFE」の発行などを行っています。

■東日本大震災の被災地への支援について

当財団は、その設立趣旨から、第二次大戦後に住宅供給を通じた戦後復興を支援してきましたが、一般財団法人移行後においてもその理念を引き継ぎ、この度の震災等の災害復興に貢献することを目的として、関係諸機関との調整を図り、平成23年5月開催の理事会・評議員会において、いち早く東日本大震災の被災地（特に被害の大きかった岩手・宮城・福島の三県）に対して復旧・復興事業の財源として3億円を上限とする寄付を行うことを決定いたしました。

県当局との協議を進めてまいりましたが、今回、岩手県の復興計画に明示された県立高田高等学校の再建への寄付を決定いたしました。今後も、震災により被害を受けた公共性の高い施設の復旧・復興を対象とする支援を残る宮城県・福島県に対して行ってまいります。